福井県衛生環境研究センター研究員活動報告　概要

発表演題名	「ノロウイルスの基礎知識と食中毒予防対策」について
学会名	食中毒・攻略セミナー
発表者名	東方　美保　（保健衛生部）
開催場所	福井県立図書館
開催日時	平成２０年９月２６日（金）
発表内容	嘔吐・下痢を主症状とするウイルス性の急性胃腸炎感染症や食中毒が増加している。その主な原因であるノロウイルス(NV)について、これまでに明らかとなった知見をまとめ、特に食中毒予防における注意点を説明した。 食中毒統計で NV が病因物質として占める割合は、平成９年の検査導入後から増え続け、過去５年間において、事件数の多さでは上位 3 位以内、患者数の多さではトップとなっている。NV は食中毒菌よりもこわれにくく、ごく少量で感染するとされており、感染者の便や吐物に大量に排出されたウイルスが新たな感染を引き起こしやすい。近年特に調理従事者が食品を汚染したと考えられる事例が多いが、小児での感染性胃腸炎患者が増加すると調理従事者由来の食中毒も増えることから流行期にはよりいっそうの注意が必要なこと、発症者だけでなく非発症者でもウイルスを排出しており感染源となる場合があること、いったん手に付着したウイルスは除去されにくく十分な手洗いが必要なことなどを理解し、洗浄・除去、加熱、次亜塩素酸による消毒などで、自らの感染予防および万が一感染してしまった場合の感染拡大防止を心がけることが大切である。また過去に福井県内で起こった、食中毒や不明感染症を疑う胃腸炎集団発生事例の具体例を紹介し、注意を促した。